

岩塚製菓株式会社 長岡工場



外観

1947(昭和22)年創業の岩塚製菓は、「お米のおいしさ創造企業」として品質・鮮度第一主義の米菓づくりに取り組む。このたび長岡工場は、「より安全安心な商品づくりと、従業員の働きやすさ」をコンセプトに増築された。



トイレ入口

衛生管理基準の異なるゾーンでは、壁と床の色をはっきりと変えており、廊下側からトイレに入るときなど、ゾーンをまたぐときは、視覚でしっかりと認識できる。



トイレ個室

トイレ個室では、専用サンダルを履く。前室からトイレ個室までの内装は、性別を問わずピンク色で統一。トイレ個室も2つに区切られ、個室入口から、作業服を脱ぎ着する場所、洗面所、最奥に大便器を設置している。



準清浄区



事務室や食堂から工場内に入るときは、非接触で作動するタイマーを用い、40秒間作業服に粘着ローラーをかける。また、せんべいをパッケージする場所は、もっとも衛生管理基準が高い清浄区としている。



洗面コーナー



洗面コーナーは、準清浄区である廊下からトイレに入る緩衝区域となるよう設置。温風乾燥機能のついた自動洗面器オートボウルとアルコール消毒器を設置。すべて非接触で完結できる。靴で入室できるのはこの場所まで。



トイレ個室



大便器は、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式に、ウォシュレットPを選定。ボタンを押すたびに発電し、電源工事が不要なエコリモコンを採用している。個室内の洗面も自動洗面器オートボウルを設置。



手洗い場

石けんや水栓金具は、すべて非接触式の器具を採用。非接触のタイマーを活用し、30秒間の手洗いを徹底している。



トイレ前室



前室には作業靴を脱いで靴下のまま歩き、トイレ個室に向かう。前室から退室する際には、粘着ローラーをかけ、靴を履きなおして緩衝区域でもある洗面コーナーで再度手洗いとアルコール消毒をしてから持ち場に戻る。

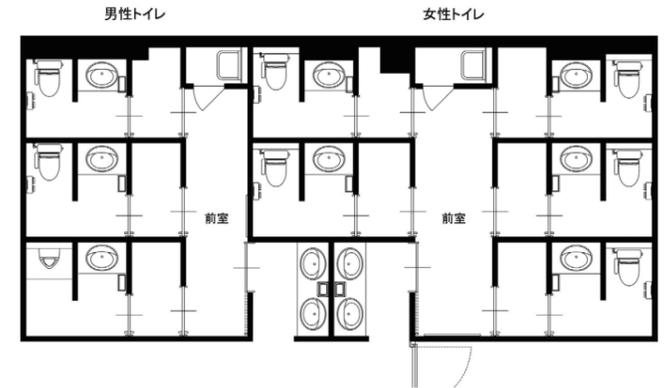


トイレ個室(男性)

自動洗浄小便器を設置した個室。自動洗面器オートボウルで手洗いをした後、壁に設置したハンドドライヤーで乾燥させなければ、自動ドアが開かない仕組みになっている。

トイレ図面

前室からトイレ個室に入り、作業服を脱いでから、便器の設置された最奥の空間に入る。



水まわりの特長

建物の特徴

“お米のおいしさ創造企業”として、原料に国産米100%を使用して品質・鮮度第一主義の米菓を製造販売する「岩塚製菓株式会社」。全国に10支店、新潟県長岡市内と北海道に合計9つの工場を擁する。このたび、既存工場の老朽化対策と生産性向上を図るため「より安全安心な商品づくりと、従業員の働きやすさを考える」をコンセプトに長岡工場の増築計画が実施された。各工場と同様に、衛生ガイドラインのHACCP(ハサップ)を基礎とし、食品の安全を確保するための国際規格であるISO22000の取得を推進。特に岩塚製菓独自のより厳格な衛生管理基準を策定、工場内は清浄区から屋外まで5段階のゾーンに分けられ、各ゾーンをまたぐ移動の際にも厳密なルールが設けられている。

水まわりの特長

トイレ空間を含む衛生管理においてもISO22000の対策を実施。工場内はゾーンごとに色分け、衛生管理基準が視認できる。また、岩塚製菓独自のプランとして、トイレと廊下をつなぐ場所に緩衝区域として洗面コーナーを設け、それを境に壁と床の色を変えることで、従業員が清潔に関する意識を視覚的に認識できるように工夫している。さらに、その奥の前室には靴を脱いで入り、靴下でトイレ個室に向かい、個室内では専用サンダルを使用。手順を統一し、従業員がストレスなく迷わず衛生管理基準を順守できるよう、人の行動に沿って機器の選定と配置を行い、適切に動線を設計。今後行われる予定の建て替えや改修の際には、今回の考え方を踏襲し、商品の安全安心と従業員の働きやすさを実現していく。

建築概要

名称	岩塚製菓株式会社 長岡工場
所在地	新潟県長岡市南陽1-1027-4
施主	岩塚製菓株式会社
設計	株式会社 細貝建築事務所
施工	大石組・植木組共同企業体
設備	菱機工業株式会社
竣工年月	(増築)2021年1月
敷地面積	9,000㎡
建築面積	5,234㎡
延床面積	5,234㎡
構造・階数	鉄骨造・地上1階、一部地上2階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォシュレットP:TCF58*系/ 棚付二連紙巻器:YH702
自動洗浄小便器:UFS900WR/自動洗面器オートボウル:TYL100, TYL101
台付自動水栓:TENA41AH